

クイズの回答

答え: MERS (clinically mild encephalitis/encephalopathy with a reversible splenial lesion)

解説:

MERS は原因不明だが、一過性に脳梁膨大部病変が出現する比較的予後良好の疾患群である。

具体的な病因としては、薬剤性（抗痙攣薬、化学療法）や、感染（インフルエンザウイルス、ロタウイルスなど）が多いとされる。特に抗痙攣薬休薬後の 24 時間～数週間で出現することがよく知られている。ほかには、代謝異常や全身性エリテマトーデス（SLE）でも報告がある。

臨床症状は発熱、頭痛、痙攣や意識障害などである。無症状のことも多い。一般に可逆性であることが多く、数日以内に画像所見は消失し臨床症状も 1 カ月以内に消失する。

画像上、MRI では DWI において脳梁膨大部に卵円形で内部均一な高信

号を認める。造影効果は認めない。ADC (apparent diffusion coefficient) の低下がみられる点で、PRES (posterior reversible encephalopathy) にみられるような血管性浮腫と区別される。ADCの低下の原因として髄鞘内浮腫や炎症細胞浸潤などが推測されている。

基本的には予後良好な疾患であり支持療法が基本となる。重症例ではメチルプレドニゾンパルス療法やガンマグロブリン大量療法が選択肢となるがその有用性に関するエビデンスは確立していない。